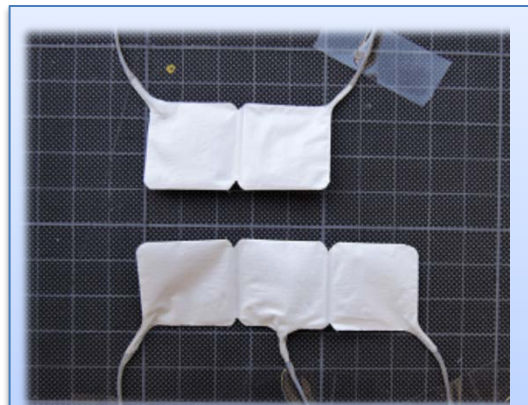


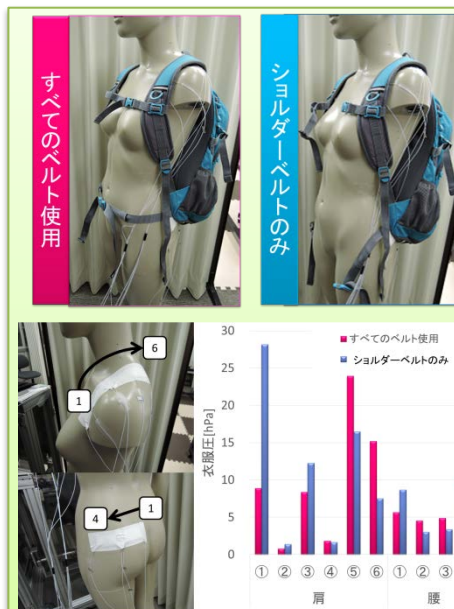
衣服圧測定手法の応用による背負い圧測定方法の検討

「ものを背負った時の人体への負荷」や「背負い心地」を数値化するため、背負う製品により人体へかかる圧力の測定方法を検討しました。

本技術の内容・特徴



上図 作製した 25 mm 角角丸の多連センサストレッチ製品の衣服圧測定装置で用いることができ、同じ手法で測定可能。



【測定事例】
例えば、リュックサックの背負い方の違い等を、圧力により、可視化できます。

左図：センサ位置
右図：背負い圧結果

従来技術に比べての優位性

- ① 様々な身の回りの生活用品により、人体にかかる圧力測定が可能
- ② センサの形状を工夫することで、連続した点における測定が可能
- ③ 身の回り品を身に付けた際に、人体に与える程度の微小圧力の測定が可能

予想される効果・応用分野

- ① 生活用品の開発時の性能評価
- ② 雑貨品の高付加価値化に寄与

提供できる支援方法

- 技術相談
- 機器利用
- オーダーメイド開発支援

知財関連の状況、文献・資料

➤ 文献資料

[1] 菅谷 他：都産技研研究報告, No.10, p.102-103 (2015)
<https://www.iri-tokyo.jp/uploaded/attachment/1199.pdf>

所属：生活技術開発セクター <墨田支所>
担当：菅谷 紘子

Te l：03-3624-3731
E-mail：sugatani.hiroko@iri-tokyo.jp